

## User Information Webサイトの機能強化について

財団法人高輝度光科学研究センター  
利用業務部図書情報課  
神辺 圭一・松本 亘

課題申請のWeb化及びユーザー向けポータルサイト（User Information Webサイト<sup>\*1</sup>）の立ち上げから早5年が経過しました。この間、課題申請書を始めとするオンライン提出書類の総数が10万件を超え、システム全体では10GB近い電子データが保存されています。

課題申請システムには、開始当時から過去の期の申請データ閲覧機能が備わっていました。しかし、提出・未提出に関わらずすべての期の申請データが一覧表示されるため、申請数が増えるにつれ、目的の申請書を探しづらくなる状況が生じていました。さらに、課題の採択後に提出する「オンライン提出書類」（利用申込書／試料および薬品等持込申請書／物品持ち込み届）や「ビームタイム利用報告書」「利用報告書」では、現在の期のデータだけが表示されるため、期が変わると過去の申請内容を閲覧できないといった機能上の制約もありました。この点に関しては、複数の利用者の方から改善要望が寄せられていたため、後述する改修を実施しました。

また、User Information Webサイト上の各種検索システム（ビームタイム利用報告書／利用報告書／研究成果）では、従来から多機能な検索機能を提供していましたが、検索条件によっては結果が表示されるまでに時間がかかるケースもありました。以前にも増して研究成果に注目が集まる中、これらのデータベース検索の処理速度を改善することは緊切な課題であったため、パフォーマンスの劇的な改善に取り組みました。

2010年4月から利用可能になった新機能は次の通りです。

### 【主な改善】

#### [ 課題申請ページ ]

- ・過去の期の課題申請書の絞り込み(フィルタ)機能

#### [ 提出書類ページ ]

- ・過去の期の提出書類の表示及び絞り込み(フィルタ)機能

#### [ 各種検索ページ ]

- ・検索速度の大幅向上
- ・複数期の串刺し検索機能(ビームタイム利用報告書／利用報告書)
- ・キーワードによる全文検索機能

### 【その他の改善】

#### [ 課題申請ページ ]

- ・課題申請書提出直後に受理期を表示

#### [ 各種検索ページ ]

- ・検索インターフェイスの改善(利用報告書)
- ・検索結果のページ送り(25/50/100件)機能

#### [ その他 ]

- ・SPring-8 オフィシャルWebサイトの「ビームライン一覧」<sup>\*2</sup>からリンクされている『文献検索』の検索速度改善

\*1 <http://user.spring8.or.jp/ja/>

\*2 <http://www.spring8.or.jp/ja/facilities/bl/list/>

